

平成30年度 事業計画

1. 基本方針

本年は、明治維新から150年、県政150周年と、いろいろな意味で節目の年となっておりますが、当センターにとりましても第2次中期5か年計画の最終年度であり、さらなる発展のための地盤固めの大事な年であります。

国内景気の堅調な推移もあって、第2次中期計画がスタートしました平成26年度から昨年度まで、事業高及び会員数ともに前年度を上回るペースで推移してきました。

国内景気は引き続き堅調に推移している一方では、少子化による若年層の労働力確保が難しくなり、人手不足は一層深刻になっています。

いきおい官民間問わず、女性や私どもシニア層への期待は膨らむ一方であり、その意味では前年度までと同様に追い風の中にあると言えます。

しかし、新年度では指定管理者の変更による就業期間の終了や発注者の節減などによる受注減少など厳しさが見込まれています。

また、雇用延長や定年延長などにより入会者の年齢層は年々高くなる一方で、発注者からの年齢制限もあって受注対応に苦戦する場合が増えつつあります。

その様な中で追い風をしっかりと受け止めてセンターの更なる発展に繋げるために、積極的な広報活動によるセンターの認知度の向上を図り、基本目標である「仕事の開拓」と「会員の増強」に取り組んでまいります。

多面的な就業開拓に努める一方で、適正就業、安全就業にも一層力を入れて就業の質の向上にも努めてまいります。

委員会、地区地域班及び事務局が、それぞれに機能強化に努めると共に、相互に連携を強化して、情報の共有化を図り、円滑な事業推進に努めます。

また、平成31年度からスタートする第3次中期計画の策定にも鋭意取り組んでまいります。

2. 基本目標

(1)仕事の開拓 事業高の目標:6億3,000万円

前年度の事業高目標は6億6,000万円でしたが、公共施設の管理等に係る就業が、指定管理者の変更等により営業努力をしてきましたが残念ながら、

就業先の大幅な減少となりました。その上、新年度からは、当センターが受託していた仕事を、発注者自身が行う等、受託環境は厳しいものとなっています。

事業高を増やし、当センターの発展を目指すにあたっては、①新たな就業先の開拓と②既存就業先での仕事の確保・拡大に取り組まなければなりません。また、発注者からのさまざまな要望に柔軟に応えられる会員数の確保と、センターの認知度を上げる広報活動が重要になります。これらの取り組みをセンターが一丸となって進めていくことで、事業高を回復基調となるよう努めます。

(2)会員の増強 会員数の目標： 2,300人

平成29年度は、目標を2,350人とし、入会説明会・研修会の改善、2カ所での出前入会説明会の開催、会員拡大チラシの全戸配布を行いました。目標には86人及びませんでした。

本年度は昨年に続き会員拡大への積極的な取り組みとして、会員一丸となった入会キャンペーンと、出前入会説明会や新入会員懇談会等を実施することでの目標値としました。

(3)就業率の向上 就業率の目標： 80%

センターでは、一人でも多くの会員の方に就業いただき、就業実人員の増加に努めます。

新たな受注先の確保とワークシェアリングを進めるとともに、未就業会員への就業相談の充実、新入会員の就業希望を把握し、就業実人員の増加を図り就業率80%を目指します。

3. 具体的な取組み

(1)地域ニーズに応える就業開拓活動の推進【就業開拓委員会】

① 基本方針

様々な広報媒体を活用し、積極的な就業先開拓の推進を行う。

就業開拓委員会と事務局が連携し、地域ニーズに合った就業開拓に取り組む。

② 具体的な取組み

就業開拓活動

- ・会員一人ひとりの就業開拓意識の向上を図り、「1 会員 1 就業開拓キャンペーン」への取り組みを引き続き行う。
- ・事業所毎に職種にあった DM を送付し、後日訪問するなど効率的な就業開拓活動を行う。
- ・新総合事業実施センターの取り組み情報を収集し、実施についての検討を続ける。
- ・役員の事業所訪問活動を引き続き行う。

広報・PR活動

- ・就業機会の拡大のために「フェア」「イベント」等、様々な機会を活用し、センターの認知度の向上に努める。

独自事業の検討

- ・独自事業については会員アイデアを常時受け付け、具体化に向けた検討を行う。

(2)健康で安全に就業できる環境づくり【安全委員会】

① 基本方針

「就業も暮らしも安全と健康があればこそ」を基本に、会員一人ひとりが日頃から安全と健康意識が向上するような啓発活動に努める。

② 事業目標と具体化方策

安全と健康についての会員意識の向上を図る。

啓発

- ・月報、講習会、各種会議等で事故ゼロを目指す啓発を行う。

安全パトロール

- ・安全基準に基づいた就業がなされているか、装備等就業現場の状況を把握し違反には適切な注意を行う。
- ・危険度が高い除草・剪定の現場を重点的にパトロールする。

事故原因の検証と再発防止策

- ・事故を起こした本人から再発防止策を含めた「事故報告書」の提出を求めるとともに、聴き取りを行い事故原因の検証を行う。
- ・他センターのペナルティー制度情報を収集し、検討する。

講習会・自動車運転適性検査等

(交通安全)

- ・交通安全関連講習会の開催。 2回/年
- ・地区での交通安全関連講習会の支援。
- ・自動車運転適性検査の実施。
- ・自動車運転「チャレンジ100」への参加。

(健康への取組み)

- ・健康講座の開催。 2回/年
- ・シルバーフェア等での体力測定・健康相談の実施。
- ・高齢者健康検診の受診勧奨。

(救命講習会)

- ・地区開催の救命講習会を支援。

(3) 衡平で目つ適正な就業の推進【適正就業委員会】

① 基本方針

法令順守を基本とし、会員の就業がより衡平かつ適正に行われるよう、チェックの強化を図り、チェックによる就業現場の減少とならないよう就業先確保に取り組む。

② 事業目標と具体化方策

就業日数・就業時間の適正化

- ・厚労省、全シ協の適正就業ガイドラインに沿った就業提供を進める。
- ・就業内容の実態を洗い直し、請負就業から派遣への切替が必要なものは切替えを図る。
- ・就業会員不足の解消及び衡平な就業機会の提供となるよう就業相談の充実を図る。
- ・昨年度に引き続き就業基準を見直し検討を進め、会員の就業意欲の更なる向上を目指す。
- ・就業現場の実態把握のため必要に応じ現場巡回を行い、職群リーダーとの対話と情報収集に努め、適正就業を進める。

(4) 地区地域班活動の活発化【地区地域班活動推進委員会】

① 基本方針

地区地域班活動にかかわる情報交換の機会を増やし、活動の活発化や課

題解決方策の支援を行う。

② 事業目標と具体化方策

地区地域班活動活発化のための情報共有

- ・リーダー・サブリーダー会議に出席し、各地区の活動状況等を把握し、共通課題の整理や先進事例の紹介などに努める。

地区役員勉強会の実施

- ・リーダー・サブリーダーを中心とした地区活動に関する勉強会を継続する。

各地区の個別課題解決への支援

昨年度に引き続き、各地区の役員会等に出席し、地区役員との情報交換により、個別課題の整理や解決方策の支援を行う。
また、地区便りの作成についても支援する。

委員会、事務局との連携推進

地区地域班活動への効果的な支援を進めるために、関連委員会、事務局との連携を図る。

(5)就業グループの育成と支援【事業推進委員会】

① 基本方針

顧客の満足度向上のため、就業現場での会員力の向上を目指した取組みを進める。

② 事業目標と具体化方策

就業会員の組織化

グループ就業の各チームに対し就業場所に必要な「共同・共助」の意識向上に努める。

- ・一人就業の家事援助会員に対して、会員交流会を定例化し就業現場での問題点を把握し解決策の検討と支援を行う。また他の一人就業職種でも交流会等情報交換の場作りを検討する。
- ・一般家庭の家事援助・子育て・介護補助分野の就業会員を確保するための「家事援助説明会」を行う。
- ・各就業現場からの提案、問題点などを収集し、検討、解決するとともに就業チームの自主運営を支援する。

就業レベルの向上

- ・就業に役立つ各種講習会を検討し、参加人員の増加に努める。

- ・会員の就業意識の向上のための取組みを検討する。

(6)組織活動の活発化ならびに情報受発信体制の強化【企画・広報委員会】

① 基本方針

会員主体によるセンター活動ならびに地区活動の活発化を図るために、対外・対内広報活動を推進する。

② 事業目標と具体化方策

会員向け情報発信力の強化

会員・地区地域班への情報発信力を強め、会員パワーによる事業運営を支援する。

- ・月報「シルバーにしのみや」の発行と魅力度の向上。
- ・就業情報「お仕事のご案内」、講習会情報の充実。

対外広報活動の充実、強化

多様な広報媒体を活用し、センターの認知度の向上を推進する。

- ・HPコンテンツの充実、デザインの見直しを行う。
- ・センターのイメージアップに資する市民・事業所向けPR誌の発刊。

会員交流活動の活発化

会員交流活動を活発化させ、高齢者の“居場所”としての機能を高める。

- ・研修バスツアーの魅力度向上による会員交流の活発化。
- ・会員の健康増進、体力づくりのための屋外レクリエーションの実施を検討する。
- ・会員作品展、シルバーフェア等を通じた市民との交流促進を図る。

(7)会員活動の活性化【総務委員会】

① 基本方針

団塊世代層の重点開拓による会員の増強と、既存会員の戦力化による就業率の向上に取り組む。

② 事業目標と具体化方策

会員増強活動の推進

入会説明会・研修会の効率的な運営により入会率(入会者数/説明会参加者数)の向上を図る。

- ・会員ハンドブックの改定(カリキュラムの見直し含む)、会員講師の養成。

- ・出前説明会（エリア限定含む）の開催回数の増加を図る（年４回以上）。
- ・会員のロコミ力を活かした会員紹介キャンペーンの実施（年２回）。

新入会員の就業促進と資質向上

未就業、低就業の新入会員（入会后１年未満）のための就業推進策を講じ、就業実人員の増加を図る。

- ・懇談会・相談会の充実（地区巡回開催も含む）。
- ・就業未経験分野への関心を高めるための就業体験会の開催。
- ・実践的な技能を習得するための技能講習の専門コースの創設を検討する。

女性会員の活躍の場の拡大

健康で明るく過ごせるシルバー人材センターを目指し、啓発事業や市民との交流事業に取り組む。

- ・「楽しくエアロ」、「女性の集い」の魅力度の向上。
- ・女性市民を対象としたセミナーの開催を検討する。

③ コンプライアンスの推進

法令やセンター規程に対する会員の理解度の向上を図り、個人情報等の適正な運用を行う。

- ・月報等を活用した啓発活動を推進する。

(8)社会貢献・地域貢献活動の積極展開【社会参画推進委員会】

① 基本方針

会員のボランティア活動を通じて、地区・地域の会員と地域の住民との交流を進めると共にセンターの認知度を高める。

② 事業目標と具体化方策

清掃ボランティア活動

９地区それぞれの特色を発揮し、「地域に役立つ清掃ボランティア活動」を目指す。

ベルマーク（使用済みインクカートリッジ含む）収集活動

- ・災害被災地支援としてベルマークと使用済みインクカートリッジの収集活動を継続する。
- ・収集量が伸びていることから、ベルマーク・インクカートリッジの整理作業については会員への協力呼びかけを拡大する。

地域貢献グループの充実

- ・子育てボランティアの「ぴよぴよサロン」、「子ども工作教室」、「こども将棋大会」など地域から期待される事業を引続き行う。
- ・事業を円滑に進めるため、①多くの会員の協力を得る、②参画する会員の意識の向上を図る。

(9)組織活動の活発化【理事会】

- ① 計画、取組みへの実効性
 - ・理事及び委員会の迅速かつ効率的な事業運営に努める。
- ② 財政安定に向けた取組み
 - ・事務費収入の増加に向け、全会員が就業開拓の取組みに参画できる具体的な取組み計画を策定する。
- ③ 組織運営体制の強化
 - ・機能的、効率的な組織運営体制の整備に向けた検討を行う。
 - ・平成31年度からの事業運営の指針となる第3次中期計画を策定する。
- ④ 関係諸団体との連携
 - ・兵庫県、西宮市、全国シルバー人材センター事業協会、兵庫県シルバー人材センター協会からの指導と助言を受ける。
 - ・先進シルバーへの視察を行い、参考となる情報収集に努める。
 - ・西宮市社会福祉協議会、西宮商工会議所、西宮高齢者事業団等の関連機関との連携を図る。

(10)事務の効率化と会員との連携推進【事務局】

- ① (公社)兵庫県シルバー人材センター協会と連携した事業への取組み
 - ・一般労働者派遣事業…(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を実施する。
 - ・有料職業紹介事業…(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に職業紹介事業を実施する。
- ② 効率的な事務局業務の推進

- ・各種研修会への参加と事務局内での勉強会を積極的に取り組み職員のレベルの向上に努める。
 - ・業務システムの検証を行い、より効率的なシステム導入を検討する。
 - ・経費の支出においては、節減に努める。
- ③ 理事会、委員会、地区地域班との連携強化
- ・理事会、委員会と連携し事業の進捗状況を把握し、円滑な事業運営を支援する。
 - ・広報紙配布事業、公園遊具安全点検事業の円滑な運営を図るため、地区地域班と連携し支援を行う。